

## Endurance

### 1) 位置づけ

1 台の車輛を複数のドライバーが共有し、規定時間での走行距離を競うゲームス。

### 2) ドライバー / チーム監督資格と心得

- ・ドライバー / チーム監督は普通運転免許証を保持している方。
- ・JAF/A・B ライセンス、サーキットライセンスは必要ありません。  
ただし、idlersGames の趣旨に共感できる、大人のエンタラントであることが必要。
- ・ドライバーズブリーフィングには、登録ドライバー / チーム監督が必ず出席してください。  
ブリーフィングにはサーキットを安全に走る上で、絶対必要な項目が含まれます。  
不参加の場合、出走が認められない場合があります。また、当日のみの特別ルールなどがある場合もブリーフィングで説明します。
- ・メカニックやサポートクルー、応援の方など、チーム関係者の行動に責任を持ち、危険な行動や危険な場所に立ち入らないよう、指導してください。また、関係者全てにルールが適用されますので、サーキットへ初めてお見えになる方などへもルールを徹底指導する必要があります。チーム関係者のルール違反は、チームの責任となり、チームにペナルティ、または、失格などの処分が課せられます。
- ・フラッグの色と意味を、記憶、理解している事が必要です。  
フラッグの色と意味を記憶／理解されていない方の走行はお受けすることができません。
- ・ドライバーは、走行中にアクシデントなどが発生した状況などを想定し、対応方法や脱出方法などをイメージトレーニングするよう心掛けてください。
- ・チーム関係者が間違った行動などを行っていた場合、何がいけないのかを教えてあげましょう。
- ・ルール違反を発見した場合は速やかにオフィシャル、または、事務局へ報告をしてください。危険行為なども同様に報告をお願いします。
- ・体調が優れないなどの場合は無理はせず、リタイヤをする勇気を持つことが大切です。

### 3) 服装について

- ・レーシングスーツの着用が義務（カートスーツは不可）
- ・レーシングスーツは FIA 公認(8856-2000 規格)などの不燃素材による 4 輪用とし、同素材のアンダーウェア/フェイスマスクの着用を強く求めます。
- ・刺繍、ワッペン等の装着はレーシングスーツの外側のレイヤーのみに加工が可能。その際、ISO15025A規格に準拠した耐火性の糸を使用。
- ・ヘルメットの着用が義務（以下の規格の 4 輪レース用ヘルメットの着用が義務/ヘルメットはFIA認定のものとし）
- ・FIA Snell規定の4輪レース用ヘルメット  
FIA 8859-2015/FIA 8860-2004/FIA 8860-2010  
Snell SA 2015/Snell SAH 2010/Snell SA 2010/Snell SA 2005/Snell SA 2000  
SFI 31.1/SFI 31.1A/SFI 31.2A
- ・2 輪車競技用のヘルメット着用を禁止します。
- ・耐用年数は、製造表記より10年です。
- ・ハンスデバイスの装着を極めて強く推奨。万が一の事故において、頸部/脊髄、および、脳への障害を低減するために、装着を極めて強く求めます。
- ・レーシンググローブ/レーシングシューズは耐火性、かつ、操作性良好な製品の着用が義務。
- ・ジェット型ヘルメットを使用の方は必ずフェイスマスクを着用してください。
- ・筑波サーキットにおいては、レーシングスーツの着用が必要です。シングルレイヤーでも可。オープンカー、グラストップ、Tバーーフ車輛で、6点式以上のロールケージを装着していない場合は、フルフェイスのヘルメットの着用が必要です。

■その他・個別の規定に記載した内容が共通項目と違う場合、個別の規定が特別規定として優先します

### 4) ドライバー登録数について

- ・登録できる人数はイベントごとの案内で、確認してください。基本的には人数制限は設けませんが、1 ドライバーあたりの連続乗車時間やドライバーの健康状態を考えて、人数設定を行ってください。

### 5) 連続乗車時間について

- ・1 ドライバーの連続乗車時間は、イベントごとの案内で確認してください。

## 6) サーキットへの入場、駐車について

### 車輛通行証

- ・車輛通行証は、サーキットへの入場証になっています。必ず入場前に、フロントウィンドウに貼り付けてください。
- ・サポートカーやトランスポーター用の車輛通行証も同様です。
- ・車輛通行証がない車輛は、サーキットへの入場料が(駐車料)必要となる場合があります。
- ・車輛通行証は競技車輛、サポートカー、トランスポーターを発行します。
- ・具体的な発行数はイベントごとの案内で確認をしてください。

### パドックパスと駐車位置

- ・パドックパスは、ドライバー、監督、スタッフに対し発行します。イベントにより異なる場合があります。
- ・競技車輛、サポートカー、トランスポーターなどの駐車位置、および、待機位置については、イベントごとのパドック表と当日のスタッフの誘導に従ってください。
- ・第一パドックへ駐車可能なサポートカーは駐車スペース1台分に収まるサイズまでです。ただし、2台分のパスが発行された場合などに、スペースからはみださなければ、1台で2台分のスペースを使うことは可能です。その場合、駐車できるのは1台のみになります。
- ・キャンピングカーやトランスポーターなどの大型車は第一パドックへ進入/駐車することができません。(イベントにより異なる場合があります。また、進入券を使用した場合はこの限りではありません)

### その他

- ・サーキット内でトランスポーターより競技車輛の降車を含め、エンジンへの点火をご遠慮ください。周辺住民の方への騒音公害となるばかりでなく苦情によりイベントの開催そのものが危ぶまれます。
- ・また、遠方よりお越しの方が、受付時間まで仮眠をされている場合もありますので、ご理解とご協力をお願いします。
- ・サーキットでは、基本的に午前8:00より走行可能という指示となっています。それ以前のエンジンの空吹かしやパドック、外周路、ゲート前スペースなどにおける走行や空吹かしを行わないようにしてください。

## 7) 参加確認受付と、自動計測器(トランスポンダー)について

### 受付

- ・指定された時間内に、参加受理証をお持ちになり事務局テントで受付を済ませてください。
- ・受付時間はイベントごとに告知します。

### グリッド決定・抽選

- ・受付時に先着にてグリッドの抽選を行います。イベントにより、抽選方式以外でのグリッド決定を行う場合があります。

### 自動計測器(トランスポンダー)

- ・計測器は、受付時にお渡しします。必ずお受け取りください。
- ・競技終了後は、すみやかに計測器の返却をお願いします。また、競技終了後15分以内の返却にご協力をお願いします。
- ・万一、計測器を破損/紛失してしまった場合は実費弁償になりますのでお気をつけください。
- ・事故などにより、ドライバー本人が返却できない場合は、メカニックやチームクルーが責任を持って返却するようにしてください。

## 8) 出走前説明(ドライバーズブリーフィング)の会場について

- ・ブリーフィングルーム、または、ブリーフィング会場にて行います。
- ・チーム監督、または、ドライバーは必ず出席してください。
- ・長時間耐久の場合は第一ドライバー、または、チーム監督、および、チームリーダーのみでもかまいません。
- ・ブリーフィング会場入り口にて「ブリーフィングチケット」と「車輛検査チケット」を係に提出してください。車検チケットに判子を押しますので、ブリーフィング後の検査にて、判子が押されたチケットを車検官にお渡しください。判子が押されていない場合は、ブリーフィング未参加と見なし、検査を受けることができません。各チケットは受理証に同封します。

## 9) 参加車輛について

### ●車輛装備一音量に関しては各開催サーキットの基準遵守

- ・クラス分けや車輛規定については別ページで確認してください。
- ・競技参加に対して、適正な整備がされた車輛であることが必要です。オイル漏れなどには特に注意してください。
- ・ゴム類やプラスチック類は経年劣化により破損する場合があります。キズやヒビ割れが確認できなくても、定期的に変換してください。
- ・3点式以上のロールケージ、シートベルトは4点式以上のフルハーネスの装備を強く推奨します。(クラスによっては装着が義務)
- ・内容量1.5Kg以上の消火器を車載する事を強く推奨します。
- ・燃料タンクを改造・変更する場合は、安全タンクへの変更のみ可です。その際、タンクスペースはコックピットと隔離してください。安全タンクへの変更を強く推奨します。
- ・前後に牽引フックを必ず装着してください。装着されていない場合は、その他の部分で牽引する場合があります。車輛にキズや損傷を与える場合がありますが、オフィシャル、事務局では責任を負えません。速やかに牽引し、競技再開させるためには牽引フックの装着は絶対に必要です。皆様の走行時間を守るためにも100%の装着をご協力ください。
- ・ノーマルタンク車はガソリン給油口をビニールテープで巻くなどの燃料吹き出し防止処置を必ず行ってください。
- ・走行時間が日没や夜間の場合、または、悪天候の場合ライトオンの指示が出ます。ヘッドライトの点灯が義務(ロービーム)。ヘッドライトの同時点灯は2灯まで。フォグランプなどの補助灯を使用する場合はヘッドライトと合わせて4灯までです。ヘッドライトが点かない場合、フォグランプ、または、スモールライトの点灯で可。ハイビームはまぶしいので禁止です。テールライトが切れてしまった場合は、赤の誘導棒などの代用で走行が可。ストップランプは左右どちらかが点灯することが必要。その他、天候や路面状況、車輛状態、その時の状況などを元に事務局、オフィシャルで走行可否を判断します。その場合は、上記規定外の状況、状態になる場合があります。12時間耐久などの長時間耐久などでは、できるだけ全チームにチェッカーを受けていただきたいと考えます。
- ・タイムスケジュールに記された時間内で、車検を行います。検査時間開始までに、テーピングなどの準備を完了させておいてください。

### ●車輛検査

- ・タイムスケジュールにそって車検場、または、出向車検にて行います。検査を受けて合格しないと出走ができません。
- ・通常の車輛検査の他に給油のための装備の検査も行います。
- ・人数分の耐火マスク(ドライビングマスク可)、耐火服(レーシングスーツ可)、耐火グローブ(レーシンググローブ可)、ガソリン携行缶、コック付きの耐油ノズル、アースコード、内容量3Kg以上の有効期限内の消火器、ストップウォッチなどです。これらが揃わない場合、走行を認めることができません。
- ・全ての車輛がピット給油となります。給油装備は必須条件です。

### ●燃料関係

- ・ガソリンの初期搭載量は全車45リッター以下です。
- ・検査時に搭載量を確認。ノーマルタンク車輛の場合は車輛検査証やカタログなど、タンク量が確認できる書類を検査官に提示してください。
- ・燃料メータの作動不良、書類不備、メカニックがいらないから分からない、たった今突然に燃料メータなどが動かなくなってしまったなど搭載量が不明確な場合は周回数5周減算とします。
- ・車検官の判断により、燃料を抜き出し確認させていただく場合がありますので、抜いた燃料を保管するための携行缶の準備も行ってください。
- ・ATL製などの12ガロン以下の安全タンクや、全容量が45L以下のノーマルタンク車輛(例:Kカーやオールドミニなど)は搭載量の省略を行う場合があります。
- ・車輛検査を受け、合格の確認表を貼付けられた後、競技開始後、ピットに戻ってくるまで給油を行うことができません。検査後、競技開始前に給油を行った場合、失格などのペナルティが課せられます。

### ●検査のための準備箇所

- ・テーピングは落下、および、飛散防止のために行います。
- ・ライト、レンズ類へのテーピング(ライトリムまでテープをかける)、バッテリーのプラス端子、プレーキシリンダー、オイルケース、クラッチオイルケース、ホイールのバルンサーなどにもテーピングしてください。
- ・ホイールバルンサーはガムテープやアルミテープを使用し、ライトやレンズ類へは透明の幅の広いビニールテープを使用してください。
- ・テーピングのためのビニールテープやガムテープなどは事務局で用意しません。
- ・一部車輛において、ヘッドライトなどが強化プラスチックなどで作られていますので、大きな面積になりますので、ガラスでなくとも必ずテーピングをしてください。テールレンズも同様です。(脱落を防止し、後続車への衝突など、危険を防止するために大変有効です)
- ・他のイベントではプラスチック類へのテーピングを省略していることを理由にテーピングを拒否される方がいますが、その場合出走を認めることができない場合があります。テーピングは落下防止も考慮されています。
- ・ゼッケンは左右のドア、ボンネット、リア(小さくても可)に、ビニールテープで4辺を確実に貼付けてください。他のゼッケンが貼付けてある場合は、見えないようにカバーをしてください。また、雨天の場合、ビニールテープやガムテープは極度に剥がれやすくなります。貼付け時に水滴をよくふき取り落下防止処置をしてください。ゼッケン落下はペナルティの対象になります。
- ・走行が夕方から夜間にかかる場合や雨天の場合などはライトオンの指示が出ます。ライト類へのテーピングは必ず透明のビニールテープで。

## 10) ゼッケン登録

- ・先着順にて各クラス共、希望のゼッケンナンバーを登録することができます。
- ・ゼッケンナンバーは3ケタまでの番号が使用/登録できます。
- ・一度登録されたゼッケンは、解除のお申し出がない限り、使用し続けることができます。
- ・ただし、特例を除き、1年以上不参加の場合は自動消滅となります。
- ・希望ゼッケンナンバー、チーム名がすでに登録されている場合は、他のナンバー、チーム名へ変更して頂くことがあります。
- ・idlersclub 以外のサーキットイベントなどで、長年使用されているゼッケンナンバーやチーム名をお持ちの場合でも、idlers Games では先着登録となります。
- ・すでに登録されているゼッケンナンバーでも、他の方よりのお申し出があり、登録車輛がそのイベントで欠場の場合に限り使用を特に認めます。
- ・混走耐久の場合、スプリントで登録したゼッケンが使用できない場合があります。その場合は事務局でゼッケンをご用意いたします。
- ・シリーズ途中でのゼッケン、および、チーム名の変更を行う場合、ポイントの引き継ぎはできません。
- ・ゼッケン制作 登録ゼッケンはご自身での制作となります。事務局では用意しませんのでご注意ください。
- ・ゼッケンを自作する場合、直径 50cm 以上の円形、または、一辺 40cm 以上の四角形の白地に黒色の太文字を用い、算数字の数字で表記してください。
- ・ゼッケン数字の書体は規制しません。ただし、管制塔より可読性があることが必要です。

## 11) グリッド、および、スタートについて

### グリッド

- ・スターティンググリッドは、受付時に抽選で決定(変更の場合あり)。グリッド整列時には、ご自分のチームの車輛誘導にご協力ください。
- ・スタート方式は、イベントごとに発表します。また、当日、変更となる場合もあります。

### ●ローリングスタート

- ・グリッド整列後、セーフティカーの先導により周回を開始する。
- ・セーフティカーがピットレーンに進入し、参加車輛が隊列を組んだままホームストレートに戻り、スタートラインのポストで日章旗、または、グリーンフラッグが振られた時点で競技が開始されます。
- ・スタートラインを通過した時点から追い越しが可能となります。

### ●ル・マン式

- ・ドライバーがコースを横断して車輛に乗り込み、シートベルトを装着した後にエンジンを始動し、スタートとなります。
- ・乗り込む際に、チームスタッフ1名のサポートを受けることができます。
- ・作業終了後、チームスタッフは速やかにサインガード内側に退避してください。

### ●セミ・ル・マン式

- ・サインガード側の壁に沿って車輛整列を行い、ドライバーが乗車しています。
- ・チームスタッフ1名がコースの逆側に待機し、スタートの合図とともにコースを横断し、ドライバーに片手分のグローブを渡します。
- ・ドライバーが、そのグローブを装着した時点でスタートとなります。
- ・グローブを渡したチームスタッフは速やかにサインガード内側に退避してください。

## 12) ピットについて

### ピットレーン制限速度

- ・ピットレーンを走行する競技車輛の制限速度は、変更が提示された場合を除き、40Km/h 以下。速度超過はペナルティの対象になります。

### ピットレーン進入

- ・ピットレーンへの進入は右ウィンカーを点滅させ、ピットレーン入口より進入。本コースからのイエローラインカットはできません。
- ・ピットレーンは一方通行です。特例を除きバックをすることができません。
- ・走行路はサインガード側とします。
- ・ピットエリアへの進入に際しては、ピット最近部からピットエリアへ向かってください。
- ・ピットアウト時、押しがけはできません。エンジンが始動しない場合、バッテリーなどを用意し、ジャンプコード接続によって始動させてください。ただし、オフィシャルが安全と認めた場合は、押し掛けが可能となる場合があります。

### ピットアウト

- ・自走は、ピットガレージ前エリアから可能となります。
- ・ピットガレージイン/ピットガレージアウトは、チームスタッフが押してください。
- ・本コースの際は、ピットロードエンドにいるオフィシャルに従ってください。
- ・本コース進入時は、進入路からはみ出さないでください。  
また、第一コーナーはイン側を走行してください。

### 13) ピット作業

- ・作業スペースは、ピット内、ピットエリア、駐車スペースとします。
- ・ピットエリア、ピット内の車輛は、キーを付けたまま、ドアをロックしないでください。
- ・作業に当たっては、エアージャッキ、エアーインパクトレンチ、電動ジャッキ、電動インパクトレンチなどの自動工具の使用が可能。
- ・ホイールの固定において、必ずトルクレンチで適正な締め付けを行い、同時に、装着状態を目視してください。
- ・自動工具を使用する際には、周辺にガソリンなどへの引火の怖れがないことを確認してから行ってください。
- ・スペアタイヤの本数を制限しません。
- ・競技中のエンジンの載せ換えが可能です。その際は大会事務局へ届け出てください。エンジン換装の場合、同排気量以下、同チューニング仕様以下のものであれば可能です。消耗品の交換について制限しません。
- ・ピットレーン作業に際しては、監視員を1名まで設定できます。この場合、1名の監視員は4名の規定外とします。ただし、監視員は車輛やドライバーに触れることを含め一切の作業はできません。
- ・ドライバー交代時はエンジン停止が義務となります。ドライバー交代時、ピットエリアに出てマド拭き、エアーチェックなどの作業を行うことができる作業員の数は、交替するドライバーも含め4名までです。
- ・高音、高熱を発する機器の使用は禁止します。
- ・ピット内は火気厳禁です。喫煙などは灰皿が設置されている、喫煙スペースをお願いします。
- ・競技中以外で、携行缶から車輛に給油する場合は、競技中同様の装備、人員にて行ってください。

### ピットの使用方法について（2016年からの追加項目です）

- ・ピットガレージ内は、車輛整備や、同じピットガレージ内の他のチームの車輛が通り抜けたりする場合があります。そのため、ピットガレージ内には最小の荷物にし、決められたスペースの中いっばいに荷物は置かない様にしてください。休憩や飲食はガレージ外のテント位置やサポートカー内に行うようにしてください。車輛が通り抜けられるスペースが確保できている場合はこの限りではありません。
- ・イベントや参加状況によって、1ピットガレージを共有するチームの数は変わってきます。多い時は10チーム以上で共有しなくてはならない場合があります。緊急作業などでピットガレージ内に車輛を入れたりする時に、スペースが確保できないと作業が行えず、競技続行が難しくなります。当日ご自身のピットガレージに何チームいるのか必ず確認をして、全チームが平等に、また、快適にピットガレージを使えるように譲り合い、協力し合う必要があります。これをお守りいただけないチームは終日ピットガレージの使用を禁止します。また、ペナルティの対象になる場合があります。

### 14) 給油について

#### ●携行缶他

- ・使用するガソリン携行タンクは、金属製のものを使用してください。その最大容量を20リッターとします。
- ・給油ホースは、半透明、または、透明のガソリン使用可能製品を使用し、折れ曲がり防止のためにワイヤー入りを使用してください。
- ・給油ホースにはストップバルブを装着してください。
- ・1チームがピットガレージ内に保管できるガソリン量は20リッター、および、1缶までです。また、直射日光に当たらない場所に保管してください。保管量を超えた場合は、事務局で競技終了まで保管します。
- ・内容量3Kg以上の消火器を用意してください。

給油ストップタイムは、タイヤが完全に停止し、エンジンストップをした時点から、計測開始となります。給油はドライバーが降車してから作業開始が可能です。3分あれば20リッターの給油は楽に行えますので、ドライバー降車、給油作業は慌てずにしっかり確認しながら行いましょう。

## ●ピット給油

- ・エンジン停止後、タイヤを完全に停止させ（計測開始）、ドライバーが降車してから作業開始が可能。（ドライバー降車が義務）
- ・給油作業に設定された時間において、ドライバーの乗車を含め一切の作業はできません。
- ・給油に当たってはマフラーなどからボディアースを行うことが義務。（アースコードはジャンプコードなどで大丈夫です）。
- ・給油時にピットエリアに出て作業が行える人数は5名です。
- 給油方法（必ず3名が必要）：1人がタンクを抱え、もう1人がコックとノズルを操作し、さらにもう1人が給油員のうしろで内容量3Kg以上の消火器を噴射可能な状態で待ち待機します。（この3名が必ず必要）1名が安全監視、1名が計測。安全タンク装着車は、サポートクルーが安全タンクの逆止弁を開き、スムーズな給油を行うようにしてください。
- ・1回の給油量は、20リッター以下です。
- ・連続給油を行うことはできません。
- ・給油時はドライバー交代が義務。ドライバーは最低乗車時間、最長乗車時間が決められていますので注意してください。
- ・スタート時のガソリン搭載量は45リッターです。
- ・給油スタッフは、全員がレーシングスーツなどの耐火服、レーシンググローブなどの耐火グローブ、耐火フェイスマスク、耐火シューズを装着することが義務。耐火性は、車検の際に検査します。シューズは燃えにくい素材のものでも可能。
- ・ノーマルタンク装着車は、ガソリンの吹き出し防止を行ってください。（給油口をビニールテープで巻くなど）
- ・給油作業時間は、12時間以上の耐久において5分。それ以外は3分とします。また、車輛により異なる場合があります。
- ・給油時間の計測は、事務局指定チームのピットクルー、もしくはオフィシャルが確認します。
- ・事務局が指定したチームの計測を行う場合、計測作業が義務となります。計測作業を放棄した場合、そのチームは失格になる場合があります。
- ・リタイヤなどで撤退する場合は、担当を別のチームに移譲してください。
- ・給油ストップタイム中に給油が完全に終了し、残りストップタイムが1分になった時点で次のドライバーの乗車が可能。乗車に関わる安全装置装着のサポートや、ドリンク、記録装置のセットなどをサポートクルーが手伝えることができます。ただし、車輛整備（窓を拭いたり、エアーを測ったりなどの一切の軽作業も含む）に関わる作業は一切行えません。エンジンスタートができるのは給油ストップタイムを完全に消化してから可能です。

## 15) クラス別タイムハンデについて

- ・3時間、4時間など短時間の耐久レースにおいて、車輛／クラス別にタイムハンデを設定します。
- ・クラス別タイムハンデの消化中は、ドライバー交替が可能。それ以外の一切の作業は行えません。ドライバー交代のためのサポート作業は可能。P-LAPの操作、ビデオセット、飲料セットなどの作業は可能。窓拭きやエアーチェックなど、車輛整備に関わるいかなる軽作業も行うことができません。この場合のピットエリアに出て作業ができるのはドライバーも含めて5名までです。
- ・給油タイム以外にストップハンデタイムが設定される場合、（ハンデタイムはイベントごとの案内で確認をしてください）給油タイムとタイムハンデを連続して消化することができます。ただし、1度のみ可能とします。
- ・タイムハンデを1度のストップで連続して消化することはできません。
- ・タイムハンデ消化や給油タイムを確認するピットインチェックシートは、競技終了後にトランスポンダーと共に必ず事務局へ提出。提出がない場合、ドライバーの連続乗車時間や、給油回数が事務局で確認ができないため、そのチームは失格となります。リタイヤの場合も必ず提出してください。提出は全チーム義務となります。
- ・クラス別タイムハンデの計測は、車輛がピットガレージ前エリアに戻り、タイヤが完全に停止し、エンジンストップした時点からです。（タイムハンデ中はエンジンストップが義務になりますので、ドライバーの連続乗車時間には含まれません）

#### 16) ドライバーの連続走行時間について

- ・ドライバーは、最小規定時間以上のドライビングを行い、最大規定時間以上のドライビングを行ってはなりません。
- ・例えば、12時間耐久では15分以上60分以内と定められています。この時間内が、一人のドライバーの担当時間となります。
- ・最大規定時間を超えてドライビングを行った場合は、ペナルティの対象となります。
- ・最低乗車時間をクリアしたドライバーが降車し、再度乗り込みドライブすることは、連続走行にはなりません。その際は、計測担当チームに必ずチェックしてもらってください。(ドライバー交代時同様エンジン停止が義務)
- ・ドライバー交代時はエンジン停止が義務。
- ・乗車時間の計測方法

計測開始 ドライバーが車輦に乗り込んで、スタート可能の準備が整い、エンジンスタートした時点から計測開始。

乗車終了 ドライバーがピットエリアに戻ってきて、タイヤが完全に停止し、エンジンストップした時点まで。

- ・ピットエリアでドライバーが乗車したままエンジンを止めずに時間調整も可能。ただし、その場合、ドライバーの降車を含む、サポートスタッフなどの一切の作業はできません(走行状態とみなします)。車輦に触れることもできません。
- ・ピットエリアで停止、または、待機中にドライバーが乗車している状態において、エンジンが停止している場合は、乗車時間に含まれません。
- ・計測開始から、計測終了までの間は車輦に触れることを含めて一切の作業ができません。
- ・体調不良などで、最短乗車時間に届かない場合は、該当ピットのオフィシャルや計測担当チームに声をかけてください。その場合の最低乗車時間規定は免除になります。ただし、オフィシャルや計測担当に伝えない場合はペナルティの対象になってしまいますので、気をつけてください。

#### 17) サインガードについて

- ・ピットレーン・サインガード付近では、安全のため、手持ちの傘などを使用することはできません。
- ・ハイヒールの方、かかとが固定されないサンダルの方、小学生以下のこどもは、ピットエリアやサインガードに立ち入ることができません。
- ・サインガード、および、ガードレールに腰をかけたたり寄りかかったりしないでください。サインガード上に登ることはできません。
- ・テレビモニターやパソコン、および、ごく省電力の照明器具以外の電気製品の使用はできません。
- ・ピットレーンを横断する際は必ず、左右の安全確認を充分に行ってください。
- ・サインガードは火気厳禁です。

#### 18) パドックについて

- ・パドックの駐車位置が指定されている場合は、それに従ってください。
- ・パドック内において、車輦テスト(プレーキテストやウォームアップなど)は絶対に行わないでください。
- ・全ての4輪車輦、2輪車輦は最徐行を義務とします。
- ・こどもの単独での乗り物の使用は全面禁止です(キックボードやローラーシューズなども含む)。こどもの管理は保護者責任とします。大人が乗物(自転車やスクーターなど)を使用する場合、最徐行を義務とします。
- ・パドック内は全面火気厳禁です。喫煙は灰皿が設置してある喫煙スペースをお願いします。
- ・料理などを行いたい場合は、消費電力を考慮した上で、ホットプレートや電磁調理器を使用してください。(ピット内不可)
- ・電熱器、カセットコンロ、ガスバーナー、バーベキューなどの炭火/裸火は使用することができません。ピット内、ピットエリアも同様です。

#### 19) 通信機器の使用について

- ・無線機の使用は可能です。ただし、免許が必要な無線機の使用は無線免許保持者のみとし、無線使用と周波数を事務局へ必ず届け出てください。他チームと周波数が重なった場合は、周波数の変更をお願いする場合があります。

#### 20) ゴールについて

- ・ゴールポストでチェッカーフラッグを振動表示します。チェッカー後は全ポストでイエローフラッグを静止表示します。スピードを落としてピットインしてください。チェッカーを受けた後は追い抜きは禁止です。
- ・ダブルチェッカーはペナルティ対象になりますので、気をつけてください。また、オフィシャルの誘導がない場合、コースをショートカットする事はできません。

## 21) ポイントについて

- ・ポイントはドライバーではなくチームゼッケン、および、チーム名に対して加算されます。
- ・同じチーム内で複数車両が参加している場合、それぞれの車両にポイントが付与されます。
- ・全戦参加のチームには、トータルポイントに加え 10 ポイントが加算されます。
- ・シーズン途中でのゼッケン、および、エントリー名、クラスの変更（タイム移動が義務のクラスは除く）を行う場合、ポイントの引き継ぎはできません。

### ポイント表

1位	55ポイント	11位	33ポイント	21位	23ポイント	31位	13ポイント
2位	52ポイント	12位	32ポイント	22位	22ポイント	32位	12ポイント
3位	49ポイント	13位	31ポイント	23位	21ポイント	33位	11ポイント
4位	46ポイント	14位	30ポイント	24位	20ポイント	34位	10ポイント
5位	43ポイント	15位	29ポイント	25位	19ポイント	以下、一律10ポイント	
6位	40ポイント	16位	28ポイント	26位	18ポイント		
7位	37ポイント	17位	27ポイント	27位	17ポイント		
8位	36ポイント	18位	26ポイント	28位	16ポイント		
9位	35ポイント	19位	25ポイント	29位	15ポイント		
10位	34ポイント	20位	24ポイント	30位	14ポイント		

■完走車すべてにポイントが加算されます。

## その他

- その他の注意事項がある場合は、イベントごとのインフォメーション、または受理証で確認してください。
- タイムスケジュールはイベントごとのインフォメーション、または、受理書で確認してください。
- 荷物や工具は各自で管理をしてください。盗難、紛失の場合、事務局、および、オフィシャルでは責任を負うことができません。
- イベント開催中に、盗難や事故などが発生した場合は、すみやかに事務局へ連絡をしてください。
- パドック内やコース上における人身事故、物損事故について、事務局、オフィシャルでは責任を負うことができません。
- パドックやピットレーンには、エントラントの応援の方や、子ども、車イスの方もいらっしゃいます。  
ピットレーンは制限速度を厳守し最徐行が義務であると心がけてください。
- 誓約書内容、ルール内容を理解していることが参加条件であり、申し込みの時点でそれらを了承しているものとみなします。
- 事務局、スタッフ、オフィシャルや他の参加者に対して、暴言、暴力、威嚇、妨害、金銭の請求、賠償請求などを行った場合、事務局判断にて即時失格、および、以後の受付拒否とします。失格の場合、走行前であっても参加費は返却しません。事務局からの通達、指示を受け入れない、実行できない方なども即時失格、以後の受付を拒否します。
- お帰りの際はゼッケンを外し、ゴミなどはゴミ箱へ捨てるよう、ご協力をお願いします。
- ガードレールなどサーキットの設備に損害を与えてしまった場合、実費をお支払いいただくこととなります。  
この見積・請求はサーキット側から事務局に提示されます。事務局はそれをそのままお伝えします。お支払いは事務局へお願いします。
- 複数台、または、直接の接触がなくとも事故の原因となったチームは、該当全チームが一連責任となります。サーキット施設破損、備品使用料などの弁償を該当チーム全員での分担負担とします。この分担弁償については該当チームと事務局との話し合いにより決定します。  
これに納得できない場合は、参加を受け付けることができません。
- 12 時間耐久においては耐久競技開催サーキットでの走行経験がないドライバーが走行する場合、必ず事前にサーキット主催のスポーツ走行会、または、東京バーチャルサーキット、130R YOKOHAMA、DDR 池袋において 1 時間以上の走行を経験し証明書をもらってください。
- ご自宅に帰るまでがイベントです。安全運転でお帰りください。

## 申し込みに関して

- 参加申込は電話、メール、FAX、口頭、メモ、手渡し、直接郵便受けに入れる、玄関の前に置いて行く、掲示板への書き込み、Facebook などの SNS での連絡などではお受けしていません。  
事務局が用意したエントリーフォーム、申し込み用紙を郵送（宅配便他原本を送付するための手段全般）、参加費とともに現金書留で同封でのみお受けします。また、参加費の後払い、分割もお受けしていません。ルールをお守りくださいますようお願い致します。